

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 160号
4月12日(金)

“試合の流れ”

それぞれに進級し、自覚が高まってきたのか、練習にもより熱が入ってきました。ぜひ、今の気持ちをいつまでも忘れずに、取り組んでいきましょう。

先日の練習試合の時、他校の先生からのアドバイスの中に、“**試合の流れ**”という言葉がありました。みんなのバレーノートの中にも、「東中学校は、流れが悪くなると断ち切ることができない。」「流れがいいときは、連続得点を行うことができる。」などと、“試合の流れ”という言葉がよく出てきます。先生は以前に、「バレーボールは流れのスポーツ!」ということを知っていました。(多くのスポーツの共通することだと思いますが、特にバレーボールには言えると思います。) 自分たちの流れの時間をいかに長く継続させるか、相手の流れの時間をいかに早く断ち切るかが、勝敗に大きく関わってきます。ラリーポイント制では、あっという間に5点・6点と入ってしまいます。今の東中学校の課題の一つは、いかに連続失点を少なくするかです。「中盤の連続失点で、試合をぶち壊しにしてしまう。」ということもよくあります。相手の流れを断ち切るためには、技術はもちろんですが、相手に立ち向かう強い心、メンタル面の強さが必要になってきます。春の大会まで2週間しかありませんが、練習・練習試合の全ての場面で、強い心でコートに立ちましょう。まだ間に合います。



【週末の練習試合で!】

14日(日) at 東中
vs 水野中・清洲中・猪高中
・守山中
21日(日) at 水野中
vs 水野中・石尾台中

春の大会前最後の練習試合になります。大会の組み合わせも決まり、より気持ちも高まっているかと思えます。何度も言っていますが、練習(練習試合)でできないことは、本番(大会)ではできません。全ての場面で、大会をイメージして取り組んでいきましょう。



【保護者の皆さんへ】

今年度も引き続き顧問をさせていただくことになりました。子どもたちもそれぞれの学年に進級し、気持ち新たに頑張っています。今の子どもたちの気持ちを大切にしながら、日々子どもたちと向き合い、春の大会・夏の中総体に向けて、チーム一丸となって取り組んでいきたいと思っています。今度ともよろしく願います。



寺田泰次郎 齋藤知恵